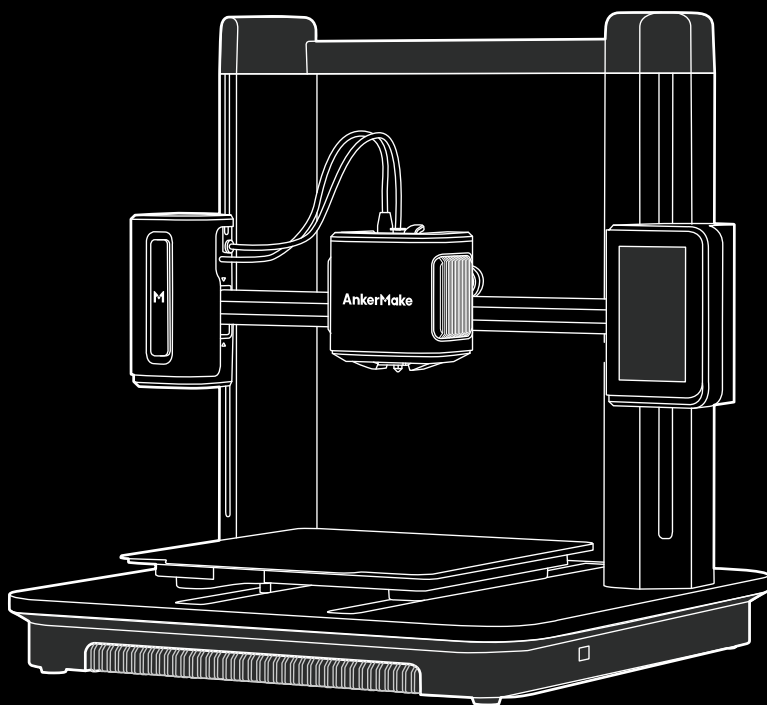


AnkerMake

3D Printers by Anker



取扱説明書

AnkerMake M5 FDM 3D プリンター



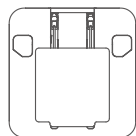
M5 5倍速く、よりスマートに

安全にご使用いただくために

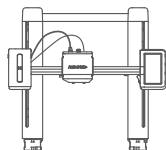
- 電源コードは、アース線接続（接地接続）が可能なコンセントに接続してください。
 - 本製品はコンセントの近くに設置し、手の届きやすい状態にしてください。
 - 付属の電源コードのみを使用してください。付属の電源コード以外のコードを使用した場合、怪我や本製品の損傷の恐れや、保証の対象外となる可能性があります。また、付属の電源コードは本製品以外には使用しないでください。
 - プラグをコンセントから抜くと、本製品の電源はオフになります。
 - 極端に高温または低温の環境で本製品を使用しないでください。また、直射日光や湿気にさらさないでください。
 - 本製品およびアクセサリの動作温度は 15°C～35°C ですが、15°C～25°C の環境で使用することをお勧めします。
 - 風通しの良い場所でご使用ください。
 - お子様の近くで使用しないでください。本製品は、お子様が使用することを想定していません。
-
-  **可動式パーツ**：このマークは、当該部が可動式であることを示しています。動作中は、身体をこのパーツに近づけないでください。
 -  **高温注意**：このマークは、当該部が高温になることを示しています。動作中は、このパーツに手を触れないでください。
-
- けがや物的損害を避けるために、本説明書に記載された以外の方法で本製品を使用しないでください。
 - 本製品の使用者は、本製品が使用される国・地域の法令を遵守し、職業倫理を守り、安全義務に留意するものとし、本製品の違法な目的での使用を固く禁じられています。当社は、いかなる場合においても、違反者の法的責任について一切の責任を負いません。

同梱品

次の部品がすべて揃っていることを確認してください。部品が揃っていない場合は、カスタマーサポートまでご連絡ください。



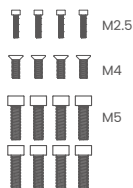
プラットフォーム



フレーム



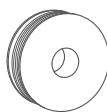
フィラメントホルダー



ネジ



電源コード

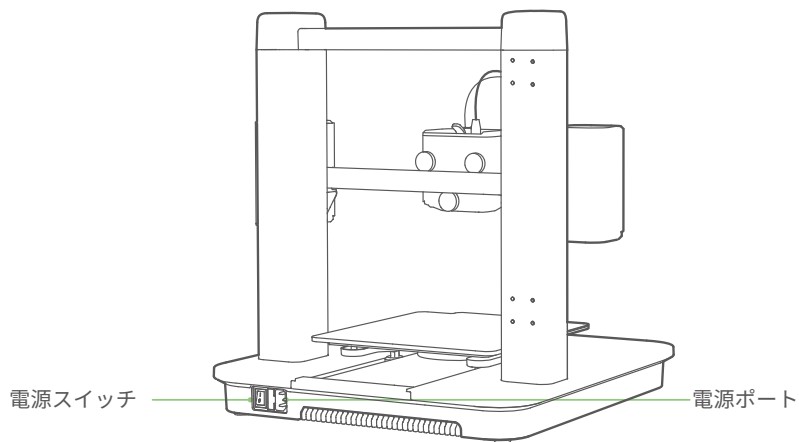
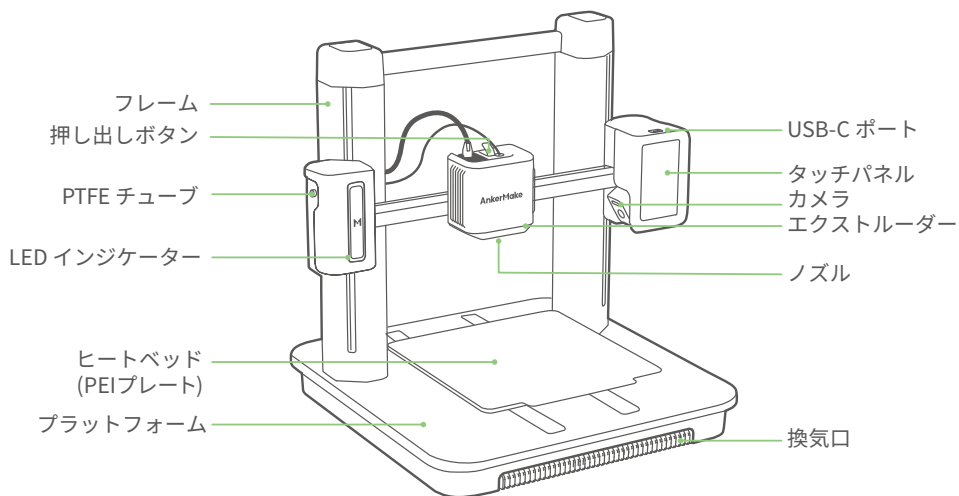


フィラメント



工具

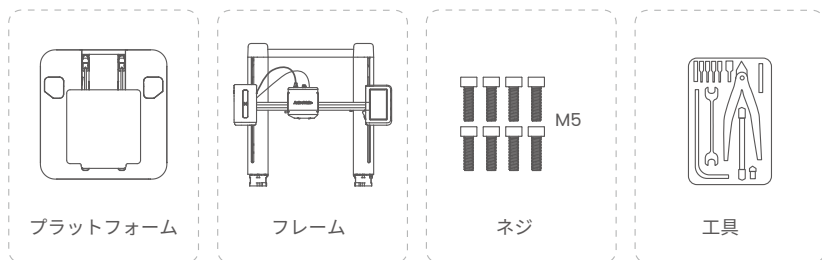
各部分の名称



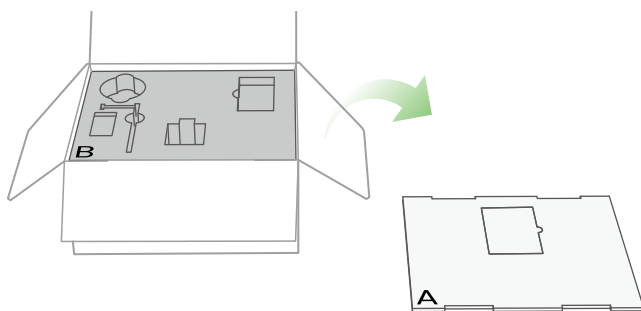
組み立て方法

手順1 フレームの取り付け

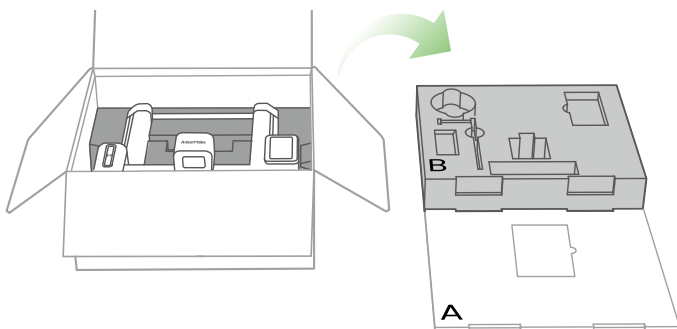
必要なもの



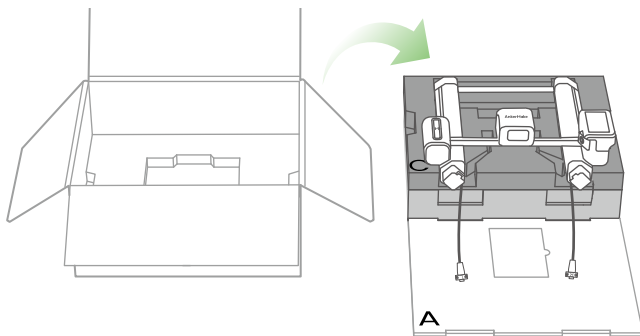
- 1 パッケージを開け、上部に敷いている梱包材 (A) を机などの平らな場所に置きます。



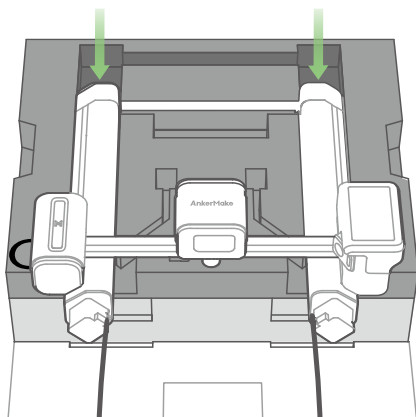
- 2 梱包材 (B) からアクセサリをすべて取り出してから、梱包材 (B) を梱包材 (A) の上部に置きます。



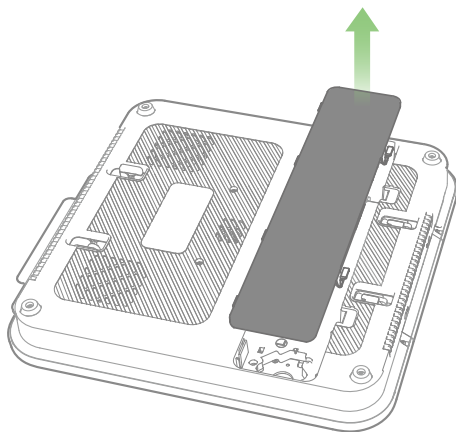
- 3 フレームを梱包材 (C) ごとパッケージから取り出し、梱包材 (B) の上に重ねて置きます。



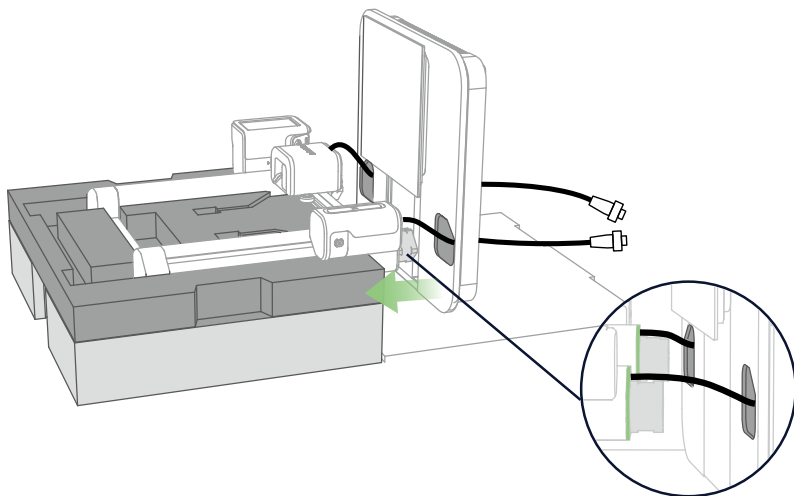
- 4 フレームの位置を少し下にずらします。



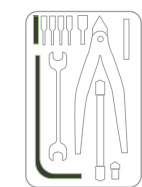
- 5 プラットフォームをパッケージから取り出し、底面のカバーを取り外します。



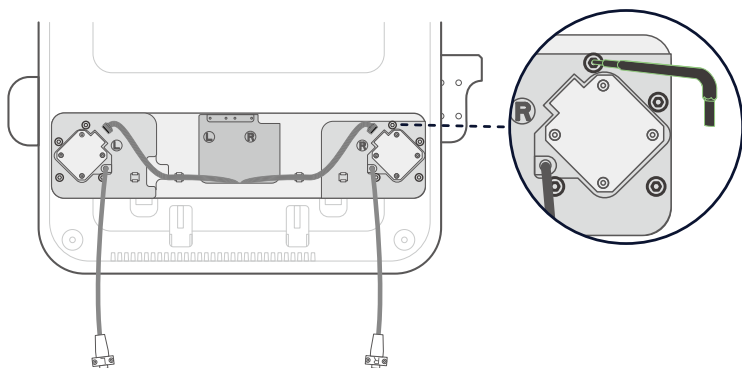
- 6 プラットフォームの穴にフレームの下部を通して、プラットフォームをフレームに取り付けます (ケーブルも一緒に穴に通してください)。



- 7 同梱のネジ (M5 x 8本) で、イラストに示しているフレームの底部を固定します。

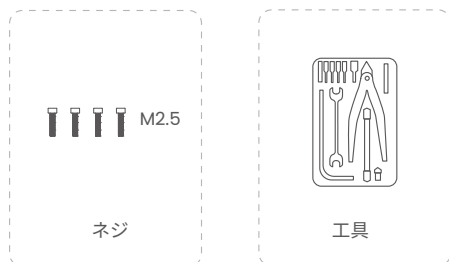


◎  M5×8

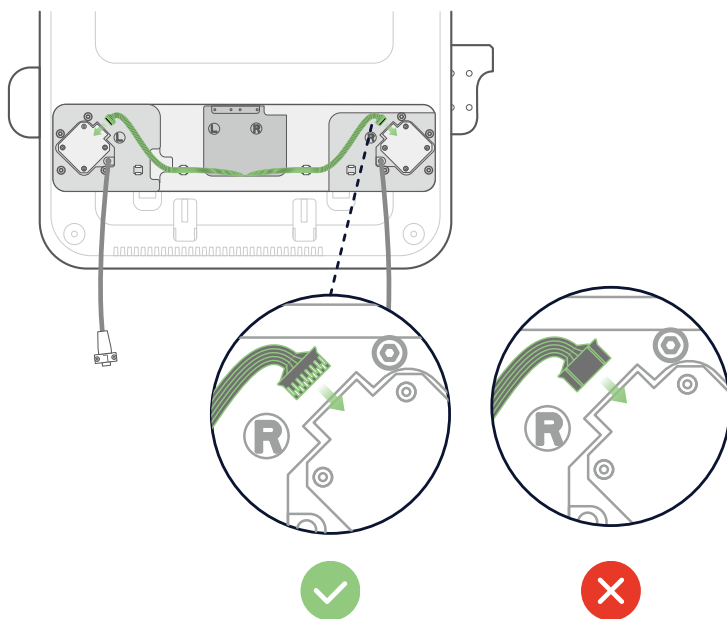


手順 2 配線

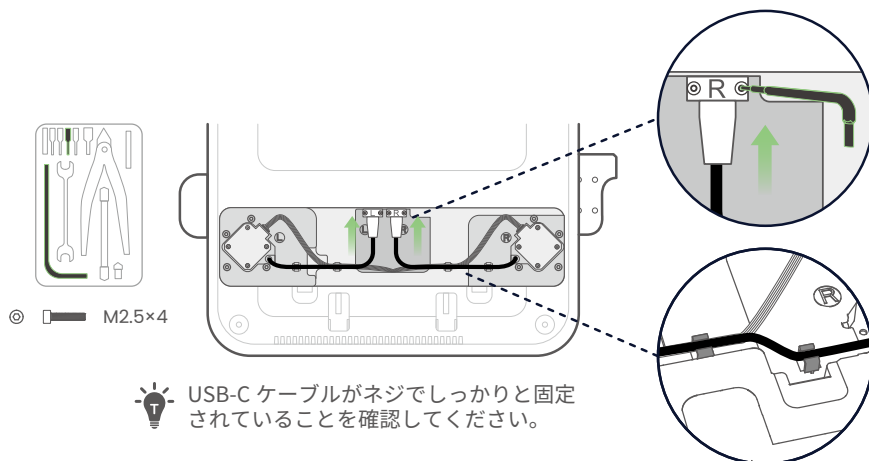
必要なもの



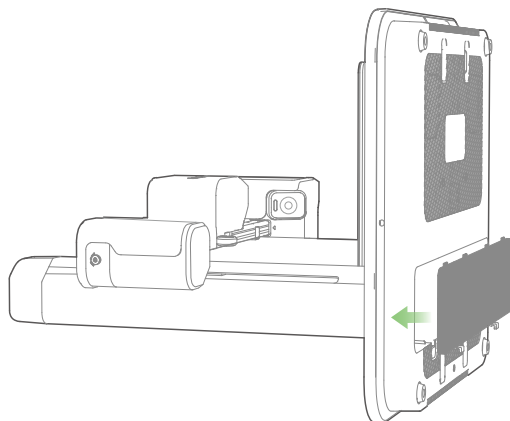
① ワイヤーを、端子側を外側に向けてモーターに接続します。



- 2 手順1の6でプラットフォームに通したUSB-Cケーブルを、LとRが合うように接続し、同梱のネジ (M2.5 x 4本) で固定します。



- 3 底面のカバーをプラットフォームに取り付けます。



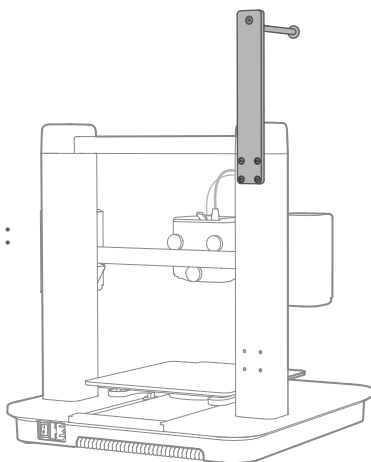
手順3 フィラメントホルダーの取り付け

必要なもの

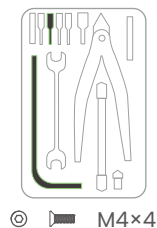
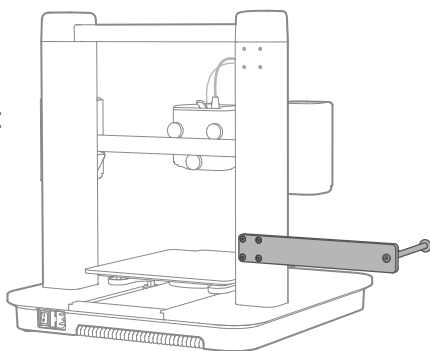


フィラメントホルダーを、同梱のネジ (M4 x 4本) でフレームに縦向きもしくは横向きに取り付けます。

オプション1:
縦向き



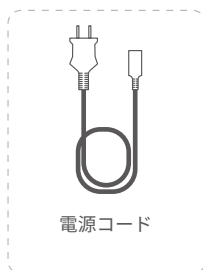
オプション2:
横向き



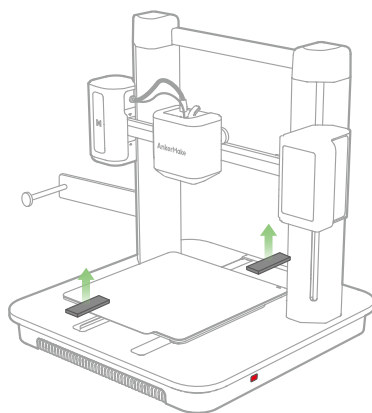
©  M4×4

手順4 電源への接続

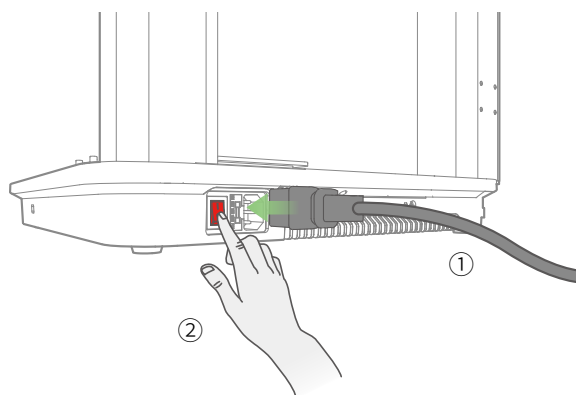
必要なもの



- ① プラットフォームから緩衝材を取り除きます。



- ② 電源コードを電源ポートに接続し、スイッチをオンにします。電源ランプが赤色に点灯します。

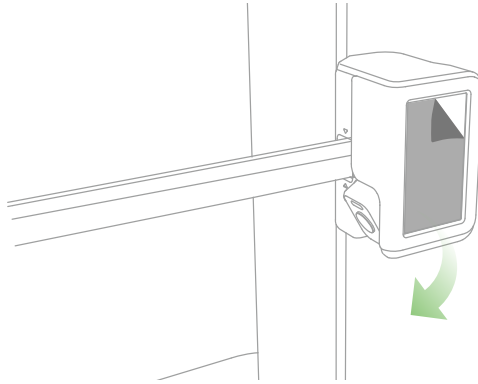


- ③ タッチパネルの指示に従って、初期設定を完了します。

ヒートベッドのレベリング

レベリングによってヒートベッドを較正することは、最初のレイヤーを確実に接着させ、その後のプリントを成功させるために重要なステップです。ノズルとヒートベッドの距離が一定であることが理想ですが、位置によってばらつきが出ると、プリントのゆがみや失敗につながる場合があります。

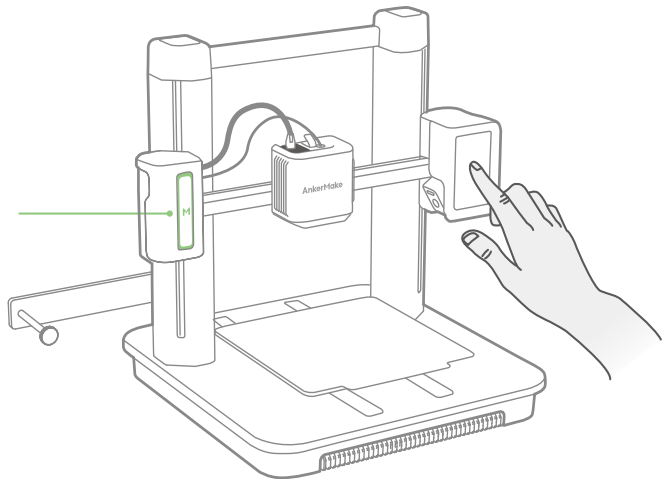
① タッチパネルの保護フィルムをはがします。



② 画面の指示に従って、レベリングやその他の操作を完了します。

⚠ オートレベリング中は、プリンターを動かさないでください。

緑色で点灯 : 動作中



💡 レベリングはスキップできますが、初めてプリントする前には必ず実施してください。レベリングの実施中に、AnkerMake アプリのセットアップを行ってください。

AnkerMake アプリ

AnkerMake アプリを使用すると、簡単にプリント設定や操作、モニタリングができる他、通知機能で即座にプリント状況を把握することができます。

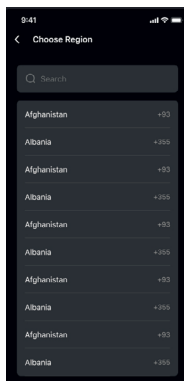
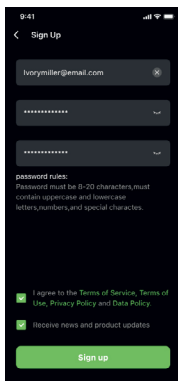
• AnkerMake アプリは随時更新されます。常にファームウェアを最新の状態にしてご利用ください。

機能	説明
Bluetooth 接続	本製品とお使いのスマートフォンを、Bluetooth で接続します。
Wi-Fi 接続	Wi-Fi ネットワークへ接続すると、AnkerMake アプリから遠隔でプリント状況の確認や操作をすることができます。
デバイスの共有	本製品を、最大 2 名のユーザーと共有利用できます。
遠隔操作	プリントの開始や停止、温度設定、ネットワークの切り替え、名前の変更などを遠隔で行うことができます。
ライブビデオ	ライブビデオをストリーミングします。
タイムラプス動画	プリント中に撮影した写真を使用して、短時間のタイムラプス動画を作成します。
AI カメラによるモニタリング	AI カメラが印刷物のずれやエラーを検知します。
警告の通知	プリント中にエラーを検知すると、アプリに通知します。

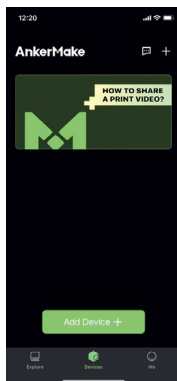
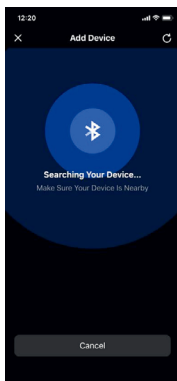
① AnkerMakeアプリをApp Store (iOS端末) またはGoogle Play (Android端末) からダウンロードします。



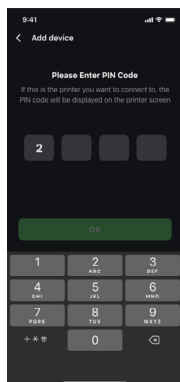
2 アカウント登録をし、お住まいの国を選択します。



3 デバイスを追加します。お使いのスマートフォンの Bluetooth を有効にして、本製品の近くに置いてください。

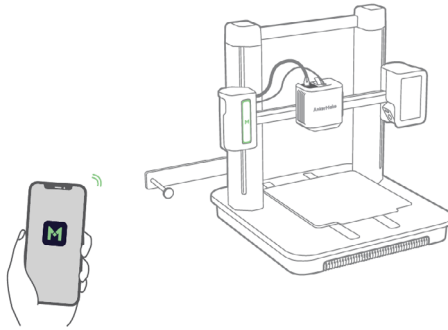


4 デバイスリストから AnkerMake M5 を追加し、プリンターのタッチパネルに表示された PIN コードを入力します。

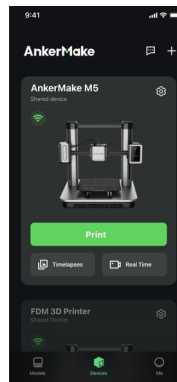


5 AnkerMake M5 を Wi-Fi ネットワークに接続したら、デバイスに任意の名前を設定します。

• 地下鉄や空港、ホテルなど、認証が必要な公共の Wi-Fi ネットワークには対応していません。また、使用できる周波数帯は 2.4 GHz のみです。



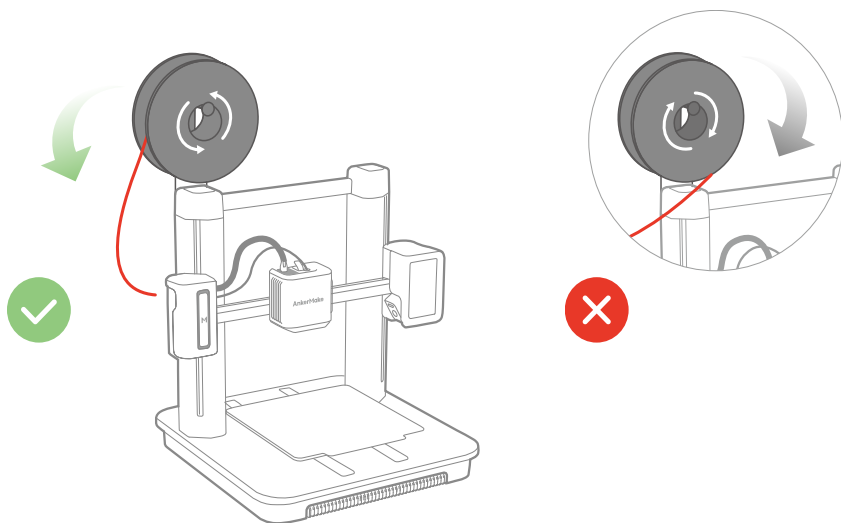
6 アプリへの登録が完了したら、アプリからデバイスの操作ができるようになります。



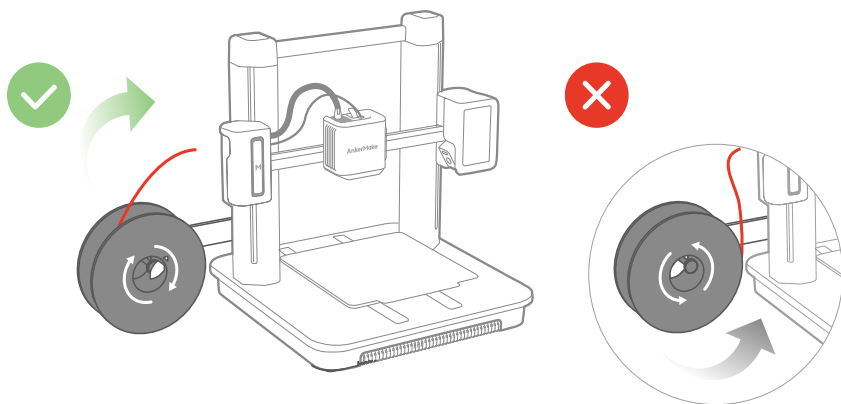
フィラメントのセット

① フィラメントを、フィラメントホルダーに設置します。

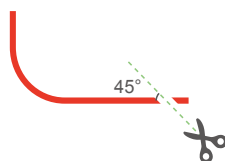
- 縦向きに設置している場合



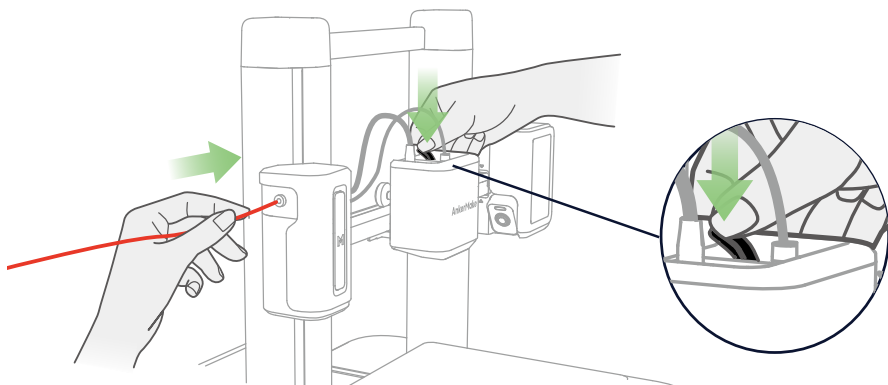
- 横向きに設置している場合



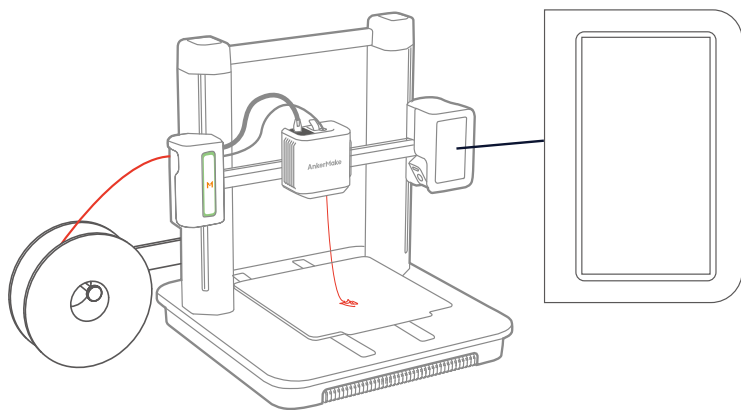
② フィラメントの先2cmをまっすぐに延ばし、先端を45°の角度でカットします。



- ③ フィラメントを PTFE チューブに挿し込み、エクストルーダーの上部にある押し出しボタンを押しながら挿入を続けます。抵抗を感じたところで、挿入するのを止めます。



- ④ タッチパネルで、[コントロール]>[押し出し]>[ロード]をタップします。加熱が完了し、ノズルからフィラメントが流れ出たら、[停止]をタップします。




	LED インジケータ	状態
	オレンジ色でゆっくり点滅	加熱中
	緑色でゆっくり点滅	プリント中
	赤色で点滅	注意
	緑色で点灯	正常

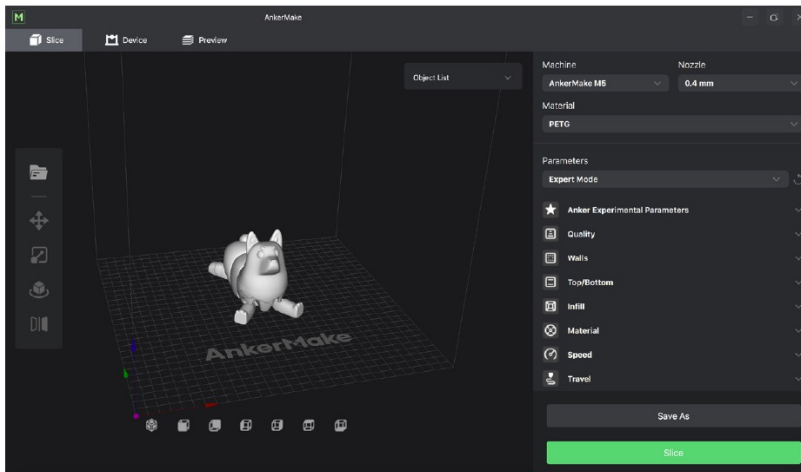
AnkerMake Slicer のインストール

より快適にご利用いただくには、Anker Japan 公式サイトの商品ページより AnkerMake Slicer をダウンロードし、お使いの PC にインストールしてください。

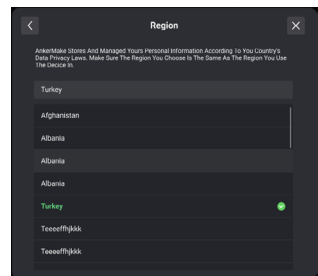
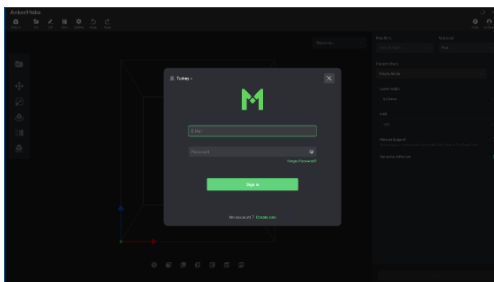
Anker Japan 公式サイトの商品ページはこちら：

www.ankerjapan.com/products/v8111

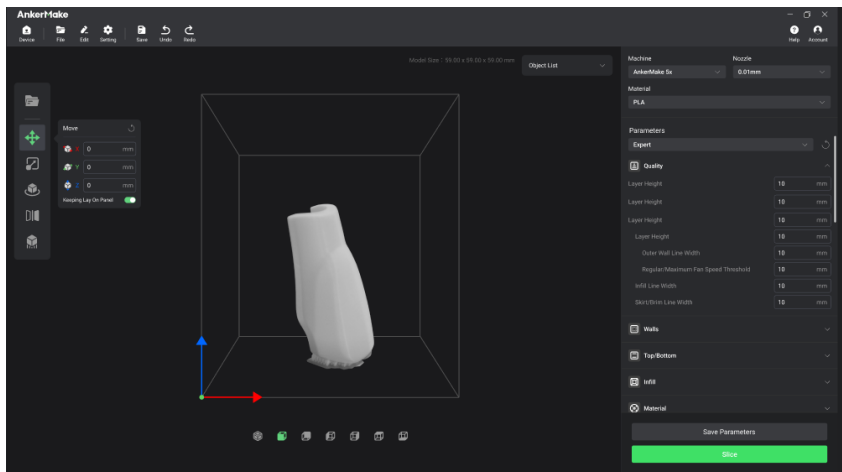
 他社製のスライサーソフトウェアをご利用の場合、AI 認識機能はご使用いただけません。



① アカウント登録をし、お住まいの国を選択します。

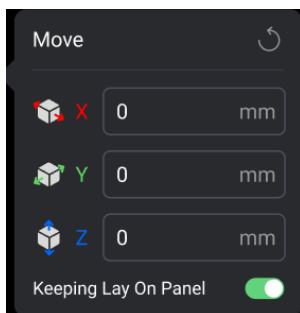


2 スライス処理をするファイルをインポートします。

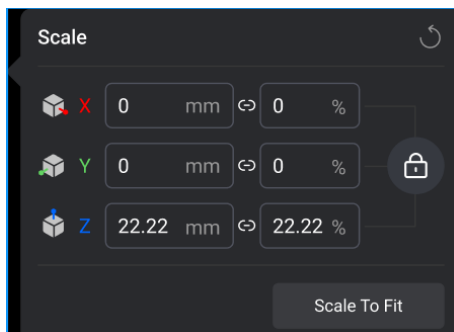


3 造形を調整します。

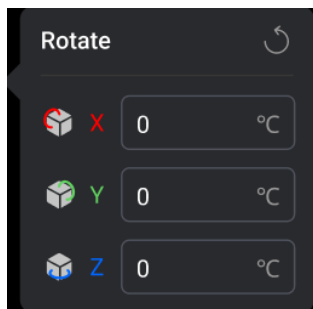
- 移動: 移動方向を選択し、移動距離の値を入力するか、プリセット値を選択します。



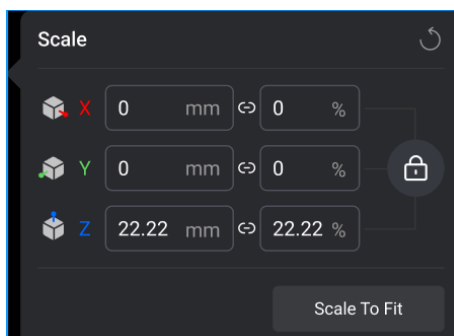
- スケール: スケールする軸を選択し、スケーリング係数を入力するか、プリセット値を選択します。



- 回転 : 回転させる軸を選択し、回転角度の値を入力するか、プリセット値を選択します。

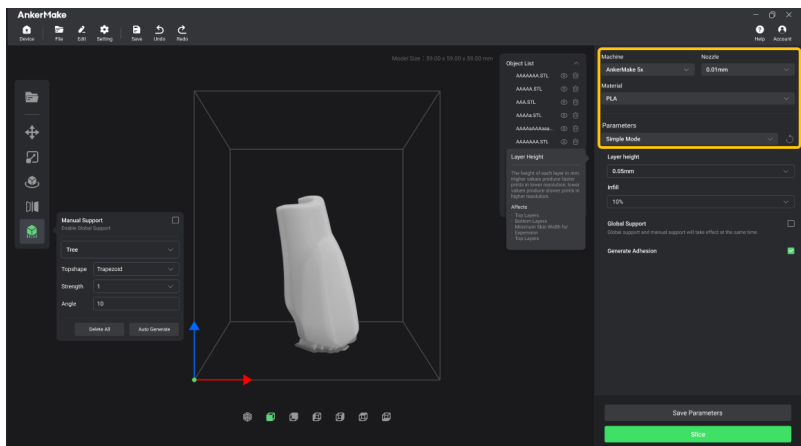


- ミラー : 反転させるための軸を選択します。



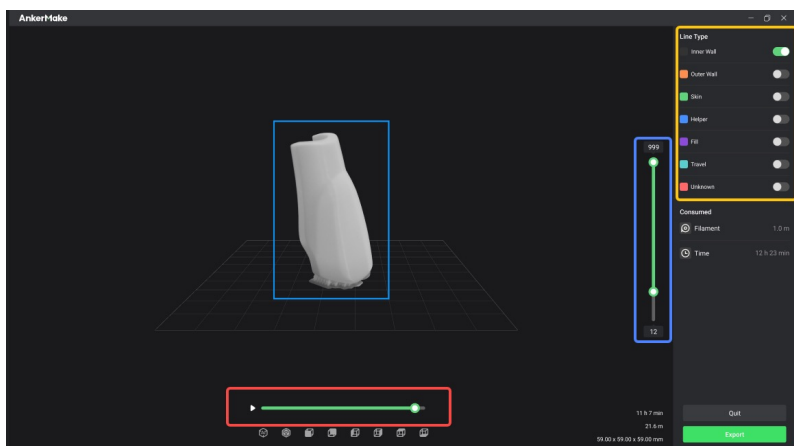
4 プリンター、マテリアル、パラメーターをそれぞれ選択します。

	基本設定	エキスパート設定
概要	<ul style="list-style-type: none"> 基本的なパラメーターが変更可能 	<ul style="list-style-type: none"> 全てのパラメーターが変更可能 全てのスライス処理に対応
対応マテリアル	<ul style="list-style-type: none"> PETG / TPU / PLA+ / ABS (デフォルト) カスタム 	
変更可能なパラメーター	レイヤー高さ、インフィル、サポートの自動生成、接着サポート	全て



5 スライスを実行し、プレビュー画面で確認したら、G-code形式になったファイルをエクスポートします。

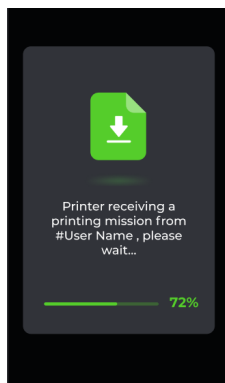
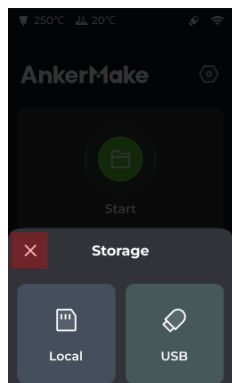
- ・黄色枠：ライントイプを表示
- ・赤色枠：表示レイヤーのノズルの移動経路をプレビュー再生
- ・青色枠：レイヤーごとのプレビューを表示



プリントするファイルの選択

ファイルをインポートする方法は3通りあります。

- ① USBメモリ：プリントするファイルを保存したType-C USBメモリを3Dプリンターに挿入し、タッチパネルで **[開始]** > **[USB]** を選択してプリントするファイルを選択します。
- ② AnkerMakeアプリ：アプリのデバイス画面から接続中のプリンターの **[プリント]** > **[ローカル]** もしくは **[USB]** をタップし、プリントするファイルを選択します。
- ③ AnkerMake Slicer：プリントするファイルをAnkerMake Slicerを通じて3Dプリンターに転送し、タッチパネルで **[開始]** > **[ローカル]** を選択してプリントするファイルを選択します。



💡 プリントの実行中は、データを受信することはできません。

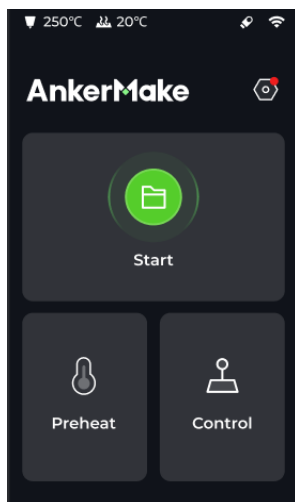
プリントの開始

注意：

- ご使用前に、必ずファームウェアが最新の状態になっているか確認してください。
- 3Dプリンターを、平らで安定した場所に置いてください。
- 周囲の温度が15°C～35°Cで、湿度が30%～70%の環境でプリントすることを推奨します。
- ABSフィラメントを使ってプリントする場合は、刺激の強い臭いが発生するため、十分に換気されている場所で行ってください。
- プリントを開始する前に、PEIプレートから異物を取り除いてください。
- PEIプレートを清掃する際は、素手で行わないでください。皮脂や汗で密着性が損なわれる可能性があります。消毒用アルコールで拭き取るか、石鹼水で洗浄し、十分に乾かしてご使用ください。
- プリントを開始する前に、Y軸二重ベルトの溝にワイヤーの残留物がないか確認してください。

プリントするファイルを選択したら、画面の指示に従ってプリントを開始します。
以下は、タッチパネルからプリントを開始する際の手順です。

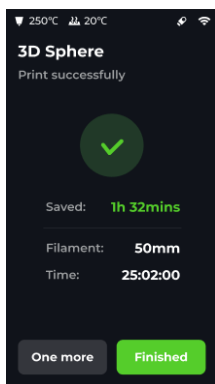
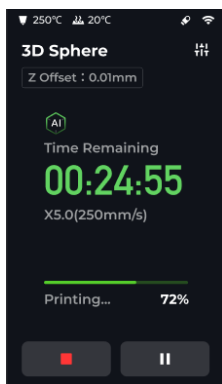
- ① タッチパネルで [開始] をタップし、プリントするファイルを選択します。



- 2 プリント設定を確認します。



- 3 プリントを開始します。



- 4 プリントが終了し、プリンターの温度が十分に下がったら、PEI プレートにヒートベッドから取り外し、優しく折り曲げながら完成したモデルを取り外します。
- 5 モデルのサポート材を取り除きます。

本製品のメンテナンス

定期的に適切なメンテナンスを行うことで、本製品をより長くお使いいただけます。

- プリンターの使用頻度が高くなると小さな部品が摩耗するため、必要に応じて部品の交換を行ってください。
- 他の部品が損傷するのを防ぐため、摩耗した部品はすみやかに交換してください。
- お手入れや部品の交換に関する詳細の情報は、アンカー・ジャパン公式サイトの商品ページをご覧ください。また、本製品に不具合や問題が発生した場合は、すみやかにカスタマーサポートまでお問い合わせください。

製品の仕様

- ・仕様は予告なく変更されることがあります。

電源	AC 100~120V 50/60Hz
定格電力	350 W
プリントパラメーター	
プリントサイズ (LxWxH)	235×235×250 mm ³
プリント速度	移動速度 最大500 mm/s インフィル速度 最大350mm/s
プリント加速度	2,500 mm/s ² (移動速度 250mm/s時) 5,000mm/s ² (移動速度 500mm/s時)
プリント精度	+/-0.1 mm (50x50x50 mm ³ のモデルの場合)
対応ノズル径	0.4 mm (0.2/0.6/0.8 mmに対応可能) ※Anker製ノズルに対応
対応フィラメント径	1.75 mm
対応素材	PLA/PETG/TPU/ABS
プリント機能	
エクストルーダー	ウルトラダイレクトエクストルーダー
ヒートベッドの素材	PEI ソフトマグネットシート (スチール製)
エクストルーダーの温度	最大260 °C
ヒートベッドの温度	最大100 °C
オートレベリング	対応 / 49 (7×7) ポイント
AIカメラ機能	プリント中の異常検知
プリント再開機能	対応
インタラクティブ機能	
CPU	コア: Dual XBurst® (1.2GHz) + XBurst®0 (240MHz) Marlin: STM32F407
対応OS	Linux
接続方式	Wi-Fi / Type-C USBメモリ
AIカメラ	写真 (1080p), ライブビデオ (1MB), タイムラプス動画 (MP4形式 / 1080p), フレームレート: 30fps
ナイトビジョン	赤外線 + 白色光
遠隔操作	AnkerMake アプリ、AnkerMake Slicerソフトウェア、Google アシスタント、 Amazon Alexa
対応スライスソフト	AnkerMake Slicer (macOS、Windows) / Simplify 3D / Ultimaker Cura / PrusaSlicer
スライサー対応ファイル形式	STL / OBJ
サイズ	502 × 438 × 470 mm (フィラメントホルダーを除く)
重さ	12.6 kg



本製品は、リサイクルおよび再利用が可能な高品質の素材および部品を使用して設計・製造されています。



適切な廃棄とリサイクルは、天然資源、人間の健康、環境の保護に役立ちます。

商標 Bluetooth®

Bluetooth® のワードマークとロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、Anker Innovations Limited は、これら商標を使用する許諾を受けています。その他の商標および商標名は、それぞれの所有者に帰属します。

カスタマーサポート

お問い合わせ

✉ Eメール: support@anker.com

☎ 電話: 03 4455 7823 (平日 9:00 - 17:00 / 年末年始を除く)

詳しい情報については <https://www.ankerjapan.com/> をご覧ください。

通常保証12ヶ月

 @Anker Japan

 @Anker_JP

 @anker_jp

Anker Innovations Limited
Room 1318-19, Hollywood Plaza, 610 Nathan Road, Mongkok, Kowloon, Hong Kong



Anker Innovations Limited. All rights reserved. AnkerMake および AnkerMake のロゴは、米国およびその他の国で登録された Anker Innovations Limited の商標です。その他のすべての商標は、それぞれの所有者に帰属します。

Product Name: AnkerMake M5
Model: V8111